

播磨圏域連携中枢都市圏ビジョンの修正内容

1 年次修正

- (1) P1～31の図表データ、文中の数値等の時点更新
- (2) P32、33 施策体系図、KPIの更新
- (3) P34以降（具体的取組）
必要に応じ、関係市町及び事業担当課等と協議し、修正する。

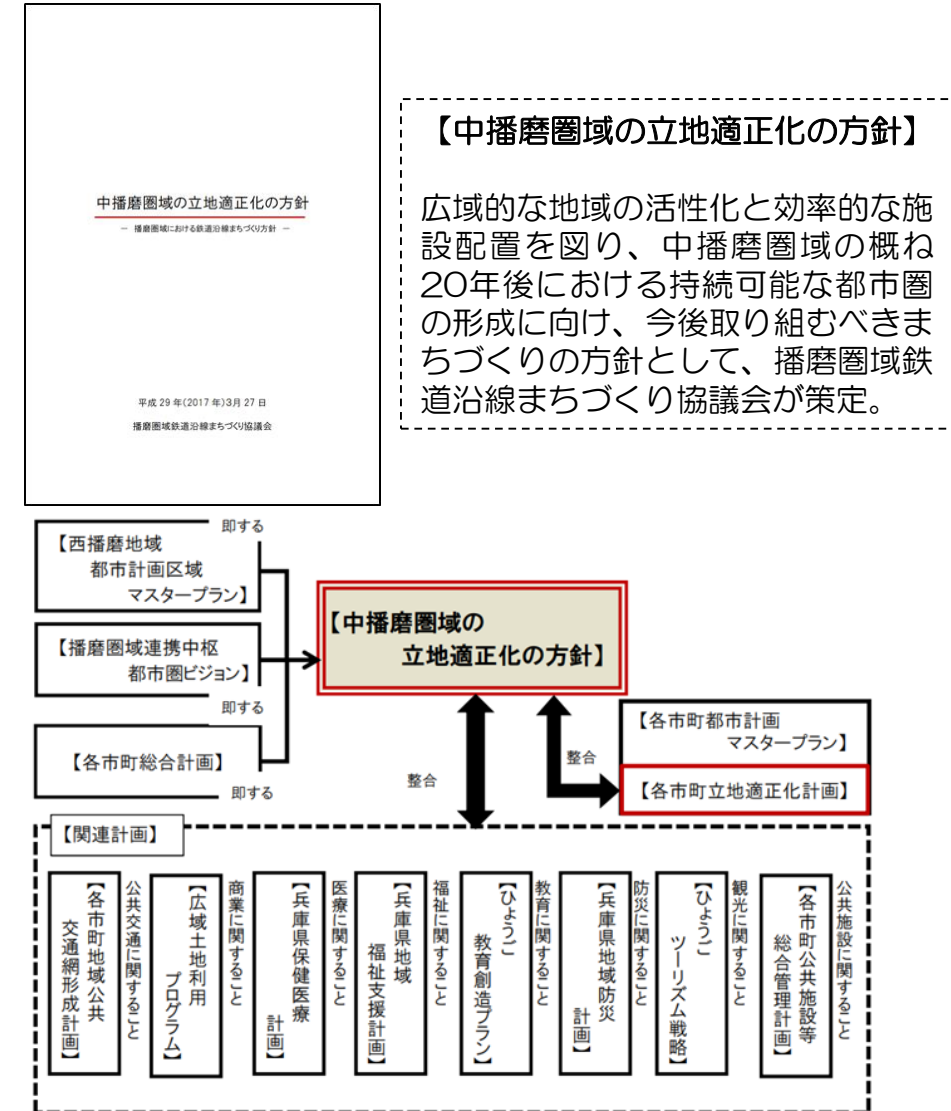
2 具体的取組の追加

「拠点となる市立高等学校整備事業の推進」を追加する。
（高次の都市機能の集積・強化分野）



姫路市立高校の統廃合に当たり、**「中播磨圏域の立地適正化の方針」**（H29.3）が修正されることに合わせて、播磨圏域連携中枢都市圏ビジョンを修正するもの。今後、事業内容や役割分担の変更等により、「生活関連機能サービスの向上」分野に位置づけることも検討する。

※当方針が、播磨圏域連携中枢都市圏ビジョンの内容に即すると位置付けられているため。



播磨圏域連携中枢都市圏ビジョンの修正案

『高次の都市機能の集積・強化』分野

高次の都市機能の集積・強化	戦略的な観光施策		12 大規模集客イベント・MICEでの連携	「高度な中心拠点の整備・広域的公共交通網の整備」分野の1事業として位置づける。
	その他、圏域全体の経済成長のけん引に係る施策		13 播磨圏域の情報発信	
	高度な医療サービスの提供		14 高度な医療サービスの提供	
	高度な中心拠点の整備・広域的公共交通網の整備		15 姫路駅周辺整備事業の推進	
	高等教育・研究開発の環境整備		16 都市交通システムの整備促進	
	地域医療		17 市内大学及び連携大学支援	
	福祉		18 保健医療サービスの強化	
			19 成年後見制度の普及啓発	

拠点となる市立高等学校整備事業の推進

参画市町	姫路市	相生市	加古川市	赤穂市	高砂市	加西市	宍粟市	たつの市
	○	—	—	—	—	—	—	○
	稲美町	播磨町	市川町	福崎町	神河町	太子町	上郡町	佐用町
	—	—	—	○	—	○	—	—
取組概要	高校生一人一人の個性を伸ばしながら、未来に向けた特色ある教育内容を圏域の高校生に提供するため、公共交通機関へのアクセスのしやすさ等に優れた場所に新高校施設を整備する。							
連携効果	・ 連携市町の生徒がより良い教育環境を享受できる。 ・ 公共交通機関の利用促進により、地域住民の生活に必要な交通手段の維持・確保が期待できる。							
事業費 (千円)	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	計		
	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇		
活用する国県 補助事業等	都市構造再編集集中支援事業							
役割 分担	姫路市	学校の設置及び運営、周辺環境整備を行う。						
	連携市町	姫路市と連携して、学校の運営、周知等に協力して取り組む。						
費用 負担	姫路市	学校整備・運営に係る経費を姫路市が負担する。						
	連携市町	特になし						

（参考）姫路市立高校の統廃合

- 対象事業
市立高等学校3校の統廃合
- 事業期間
令和9年度～
- 立地適正化計画
既存3校：都市機能誘導区域外
計画地：都市機能誘導区域内

